

**ADOLESCENTS HIV/AIDS ABORTION  
ADVOCACY ADOLESCENTS HIV/AIDS  
ACCESS ADVOCACY ADOLESCENTS  
ABORTION ACCESS ADVOCACY AD  
HIV/AIDS ABORTION ACCESS ADVOC  
ADOLESCENTS HIV/AIDS ABORTION  
ADVOCACY ADOLESCENTS HIV/AIDS  
ACCESS ADVOCACY ADOLESCENTS  
ABORTION ACCESS ADVOCACY AD  
HIV/AIDS ABORTION ACCESS ADVOC**

**国際家族計画連盟 (IPPF)  
戦略的枠組 2005-2015  
好機の枠組**



Published in 2004 by  
IPPF, Regent's College,  
Inner Circle, Regent's Park,  
London NW1 4NS  
United Kingdom  
[www.ippf.org](http://www.ippf.org)

Designed by Spencer du Bois

IPPF is incorporated by UK Act of  
Parliament and is a UK Registered  
Charity No 229476

### 国際家族計画連盟 (IPPF) のビジョン

IPPFは、女性、男性、若い人すべてが必要とする情報とサービスが受けられ、セクシュアリティが人間の生活のなかでごく自然の大切な側面であり、基本的人権の一つであることが認められ、そして個人の選択が十分に尊重され、汚名を着せたり差別をしたりすることのない世界を目指す。

### IPPFの使命

- IPPFは、アドボカシー（政策提言）やサービスを通してセクシュアル/リプロダクティブ・ヘルスとライツの推進運動を実施することにより、特に貧しい人や弱い立場にある人に重点をおいた個人の生活の質の向上を目指している。
- 不健康、望まない妊娠、暴力、差別を心配することなく性生活を楽しむ青少年すべての権利を守る。
- 女性が妊娠を合法的かつ安全に停止させることを選択する権利をもつことを支援する。
- 性感染症（STIs）をなくし、HIV/エイズの蔓延と影響を減らす努力をしていく。

### IPPFの活動基盤を成す価値観

- IPPFは、セクシュアル/リプロダクティブ・ライツが国際的に認められた基本的人権であり、すべての人に保証されるべき権利であると確信する。
- IPPFはジェンダーの平等の確立を目指し、個人の、なかでも若い女性の心身の安寧を脅かし、健康と人権の侵害が世にはびこることにつながる差別を撤廃するために尽力する。
- IPPFは、多様性を尊重し、その組織運営と事業に青少年たちやHIV/エイズとともに生きる人たちの参加を得ることに重きをおく。
- IPPFがなすべき事柄を達成し、運動を推進する核心は、ボランティア精神であると考えている。
- IPPFは、様々な社会集団、政府、組織、資金援助組織と提携した活動に専心する。

### IPPFとはどのような組織か?

国際家族計画連盟（IPPF）は148カ国の加盟団体を結ぶネットワークで、セクシュアル/リプロダクティブ・ヘルスとライツの提供者であり、推進者として世界最大の任意の非政府組織である。

## はじめに

IPPFは、人々が自分の生き方を前向きに変え、しかもそれを長続きさせることに改めて力を注ぎ、活動の中心に置いていくため、2005年から2015年までの10カ年の指針として「IPPF 戦略的枠組」を作成したのでここに謹んで提示したい。IPPF全体の合意を得たこの枠組は、加盟団体や上級ボランティア、地域事務局、中央事務局のアイデアや経験を集大成し、中央理事会の承認を得たものである。この10カ年計画はIPPFのこれまでの実績に将来ビジョンを合わせた「好機の枠組」を提示し、加盟団体が自国のセクシュアル/リプロダクティブ・ヘルスの実態に沿って解釈し、最も適正な対応を考え出す参考となるものである。「戦略的枠組」は規則や規制を押しつけるものではない。むしろ加盟団体や地域のおかれた状況が多岐にわたることに十分配慮している。そのような柔軟性を確保する一方で、この枠組は、世界中の女性、男性、そして青少年のニーズを満たすためには当然達成しなければならないIPPFの共通目標に向かって加盟団体の努力を結集させることを目指している。

「戦略的枠組」は、IPPFが前回打ち出した戦略「ビジョン2000」の評価と変動する活動環境やニーズの分析を経て考案された。結果として、セクシュアル/リプロダクティブ・ヘルス分野での「未完の事業」に的を絞ることとなった。IPPFは、国際人口開発会議（ICPD）のビジョンと約束を真の国際的合意として認識しているが、この会議で設定された目標の実現にはほど遠く、その目標達成をはかるには、改めて財政的、政治的な支援が必要である。同様に、国連のミレニアム開発目標（MDGs）として掲げられた貧困の大幅削減という課題も、セクシュアル/リプロダクティブ・ヘルスが良好で、特に世界中の全ての人々がセクシュアル/リプロダクティブ・ヘルスの情報とサービスを受けられて、初めて可能になるものである。

このような未解決の問題を解決するのに、「戦略的枠組」は次の5項目を優先分野として、今後の活動的的を絞ることとした。

- 思春期の若者・青少年
- HIV/エイズ
- 人工妊娠中絶
- (セクシュアル/リプロダクティブ・ヘルス関連情報とサービスへの) アクセス
- アドボカシー (政策提言)

以下に挙げる目標の達成を目指して草の根レベルの能力を育成すれば、IPPFのビジョンは実現できる。そのプロセスで、加盟団体が孤軍奮闘することはなく、確実にIPPF事務局から連盟の全レベルで足並みを揃えて前進できるよう全面支援が受けられる。その一環として、本枠組を強化し、草の根レベルで適用するために、1) ガバナンス (組織管理・統治) および加盟団体の審査、2) 資金調達、3) 能力強化、4) モニターと評価に関する4つの支援戦略策定されている。

この枠組の重要な要素は、実施状況とその効果を測ることである。そのため、IPPFでは、各優先5分野について一連の世界指標を設定した。IPPF全体から集めた指標により、成功例を報告し、進捗状況を測り、人々への影響を査定するためのより効果的な方法として、主要目標に照らしあわせて事業実績を見直し、モニターし、評価することが可能となろう。

ボランティア精神は、引き続き我々のリーダーシップと使命の真髄に息づいている。多くの献身的な人たちの貢献があってこそ、IPPFは斬新で効果的な事業の立案・推進を続けられる。IPPFは、「戦略的枠組」のもとに、我々の絶大なる多様性と、明確でしかも圧倒的なものと信じて疑わない単一の活動ビジョンを組み合わせることにより、すべての人のためのセクシュアル/リプロダクティブ・ヘルスとライツの向上を目指した世界中の運動の最前線に立ち続けることが可能になる。



事務局長  
スティーブン・シンディング博士



会長  
ニナ・プリ博士

## 思春期の若者と青少年たち

### 最終目標

全ての思春期の若者と青少年たちが自分たちのセクシュアル/リプロダクティブ・ライツを認識し、十分な情報に基づいてセクシュアル/リプロダクティブ・ヘルスに関する自己選択・決定し、それにしたがって行動できるようにする。

### 過渡的目標

1. 思春期の若者と青少年たちのセクシュアル/リプロダクティブ・ヘルスとライツおよびニーズに対する責任と支援を強化する。
2. 組織の運営や思春期の若者/青少年たちに影響を及ぼす事業の特定、開発、運営管理に彼らを参加させるよう推進する。
3. 若者たちが気軽に受けられ、しかもジェンダーに配慮した包括的な性教育を受けられる場や手段を増大させる。
4. 若者向けの幅広いサービスをもっと気軽に受けられるようにする。
5. 若い女性のセクシュアル/リプロダクティブ・ヘルスとライツに影響を与えるジェンダー関連の障壁と慣行を減らす。

### 事業戦略

1. 思春期の若者と青少年たちのセクシュアル/リプロダクティブ・ヘルスとライツおよびニーズに対する責任と支援を強化する。
  - a) アドボカシー（政策提言）
    - 青少年特有の権利やセクシュアル/リプロダクティブ・ヘルスのニーズを認めた上で、彼らのセクシュアリティについて積極姿勢をもってもらうようにする。
    - 青少年たちのセクシュアル/リプロダクティブ・ヘルスとライツを支持するのを助け、可能にするような環境づくりをする。
    - 財源を求める。
    - 青少年すべてに向けてセクシュアル/リプロダクティブ・ヘルスの情報および教育とサービス提供を増大させる。
    - 法律改革と援護する法律の制定をはかる。
    - 子どもの権利条約の適用を推進する。
  - b) 自分たちの権利行使を推進させるため、青少年の能力強化と彼らの力の結集をはかる。
  - c) 若者団体や市民組織など、官民双方の組織と連携をとって働く。

**2. 組織の運営や思春期の若者と青少年たちに影響を及ぼす事業の特定、開発、運営管理に彼らを参加させるよう促す。**

- a) アドボカシー（政策提言）
  - IPPFを若者を重視する組織として標榜する。
  - 青少年たちの地域のコミュニティの中での政策立案と決定に彼ら自身の参画を進める。
  - 国内・国際的な集会の場や行事での青少年たちの参画を推進する。
- b) 青少年たちを対等のパートナーとして共に働くよう、大人を感化する。
- c) IPPFのあらゆるレベルおよびそれ以外での組織運営、事業管理、調査研究に青少年たちの積極的な参加をはかる。
- d) あらゆる段階での運営統治体制を見直し、若者の参画を促進する体制を確立する。
- e) （ボランティアや職員などの）異なる立場での若者の参画を制度化する。
- f) 若者が主導する活動を促進し、支援する。
- g) 青少年向けの指導者養成事業を開始し、推進する。

**3. 若者たちが気軽に受けられ、しかもジェンダーに配慮した包括的な性教育を受けられる場や手段を増大させる。**

- a) 青少年のセクシュアリティに前向きに取り組むことを促し、規制のない、実証的根拠や権利に基づく方法を推進する教育を提唱し、提供する。
- b) 多様なニーズと性的な志向をもつ青少年たちに直接届くような事業を見極め、実施する。
- c) 青少年向けにセクシュアル/リプロダクティブ・ヘルスとライツの情報、性教育、生活技能を総合的に提供することを目指した新しい取組みを試験的に実施し、評価し、拡大する。
- d) 親、教師、地方当局その他と提携を結び、対話をかわす。
- e) 情報と教育の提供に関する立案と実施に青少年たちの参画をはかる。
- f) 性教育に関する実証根拠に基づく、良い実践指針を作成する。

**4. 若者向けの幅広いサービスをもっと気軽に受けられるようにする。**

- a) （人工妊娠中絶に関連するサービス、緊急避妊、HIV/エイズなどの）、男女それぞれに特有なニーズをかなえる、若者向けの質の高い総合的サービスを提供する。
- b) 青少年の多様なニーズおよび性的志向に合ったセクシュアル/リプロダクティブ・ヘルス・サービスを総合的に提供することを目指した新しい取組みを試験的に実施し、評価し、拡大する。
- c) 青少年向けの効果的な専門医療機関の紹介体制や提携関係を確立する。
- d) 各種サービスの立案、実施、モニター、評価に若者を参加させる。
- e) 職員が責任感をもって仕事に打ち込めるように、サービス提供機関の職員の能力を強化し、感性を磨き、動機付けをする。

## IPPF 戦略的枠組

5. 若い女性のセクシュアル/リプロダクティブ・ヘルスとライツに影響を与えるジェンダー関連の障壁と慣行を減らす。
- a) 若い女性のセクシュアル/リプロダクティブ・ヘルスとライツを規制するジェンダーにまつわる障壁や慣行に異議をとなえるよう市民社会に向けて訴え、その力を結集する。
  - b) 若い女性に能力を与え、自己決定技能を向上させ、公の開発討論に参加できるようにさせる場を創り出す。
  - c) ジェンダーの平等問題への取組みに、あらゆる年齢の男性を巻き込む。



# HIV/エイズ

## 最終目標

世界中でのHIV/エイズの発生を減らし、HIV感染者やエイズ患者の権利を全面的に保護する。

## 過渡的目標

1. 人々をHIV/エイズ禍にさらされやすくする社会、宗教、文化、経済、法律、政治の各分野での障壁を減らす。
2. 包括的で、ジェンダー配慮の行き届いたセクシュアル/リプロダクティブ・ヘルス事業を通して、性感染症およびHIV/エイズの予防を目指した対策をより身近に受けられるようにする。
3. HIV感染者・AIDS患者のケア、支援および治療、HIV/エイズにより影響を受けた人々の支援の利用窓口を増やす。
4. セクシュアル/リプロダクティブ・ヘルスとHIV/エイズの事業と政策の連携を強化する。

## 事業戦略

1. 人々をHIV/エイズ禍にさらされやすくする社会、宗教、文化、経済、法律、政治の各分野での障壁を減らす。
  - a) HIV/エイズの予防を妨げ、それによってHIV/エイズにまつわる社会的汚名の増幅につながるような社会、宗教、文化、経済、法律、政治の障壁を理解するための（調査を含む）知識管理を実施する。
  - b) 多種多様な経路を通して、あらゆるレベルでHIV/エイズと関連問題についての意識を高め、この問題に敏感になるように促す。
  - c) セクシュアル/リプロダクティブ・ライツを含む人権の推進とその権利行使ができるような環境を創出するためのアドボカシー（政策提言）を行う。
  - d) 意識昂揚とアドボカシー（政策提言）の成果を最大限にするために、（政府、NGO、地域に根ざして活動を実施するボランティア団体（CBO）、国連機関、国際復興開発銀行（IBRD）などとの）提携関係を積極的に追求する。
  - e) 国内調整機構（CCMs）などのHIV/エイズを扱うネットワークへの参加と強化をはかる。
  - f) 政策立案と立法化に参画する。
  - g) セクシュアル/リプロダクティブ・ヘルスと HIV/エイズを貧困軽減戦略に統合するよう政策提言を行う。
  - h) セクシュアル/リプロダクティブ・ヘルスとHIV/エイズ政策と事業の統合を積極的に推進する。
  - i) HIV/エイズとともに生きる人たちも含めた関係者の参画をはかる。

## IPPF 戦略的枠組

**2. 包括的で、ジェンダー配慮の行き届いたセクシュアル/リプロダクティブ・ヘルス事業を通して、性感染症およびHIV/エイズの予防を目指した対策をより身近に受けられるようにする。**

- a) 事業や対策についての実証的結果を、探しあて、解釈し、広く普及させる。
- b) セクシュアル/リプロダクティブ・ヘルスおよびHIV/エイズ予防を目指した、実証根拠に基づき、かつ文化やジェンダーに配慮した行動変容を促すコミュニケーション（BCC）を実施する。
- c) 性教育のなかに性感染症およびHIV/エイズ予防を統合していく。
- d) 二重防御を推進する。
- e) HIV予防と望まない妊娠をしないために共同責任、自己責任をとるよう勧める。
- f) 性感染症管理、自発的に受けるカウンセリングと抗体検査（VCT）の勧奨、母子感染予防などの性感染症およびHIV/エイズ関連のサービスを（臨床およびアウトリーチ事業の）広範なセクシュアル/リプロダクティブ・ヘルス・サービスの一部として統合していく。
- g) HIVに感染している女性のセクシュアル/リプロダクティブ・ヘルス・ニーズに取り組む。
- h) セクシュアル/リプロダクティブ・ヘルス・サービスを性感染症およびHIV/エイズ事業に統合する。
- i) 関係機関との提携関係、とくに専門機関の紹介（リファレル）ネットワークを確立し、それを強化する。
- j) 男性用、女性用の両方のコンドームを入手できるようにする。
- k) セクシュアル/リプロダクティブ・ヘルス・サービスをHIV/エイズ関連のサービスに統合できるように能力育成をはかる。

**3. HIV感染者とエイズ患者のケア、支援および治療、エイズによって影響を受けた人々の支援の利用窓口を増やす。**

- a) HIV/エイズとともに生きる人たちがケア、支援、抗レトロウイルス薬を含む治療へのアクセスを拡大するよう政策提言を行う。
- b) HIV/エイズに関する政策、基準、治療計画などを各国に通知し、各国の実情に合わせて適用させる。
- c) 国内のHIV/エイズとともに生きる人たちを対象とするサービスおよびケアの提供状況を分析する。
- d) 提携関係を構築・強化するーサービスとケアの窓口の分布を明確にし、専門施設とのリファレルネットワークを構築する。

- e) 各国の実情に合わせ、HIV/エイズとともに生きる人たち向けに下記のようなサービスを提供する。
- 自発的に受けるカウンセリングと抗体検査（VCT）
  - 母子感染の予防
  - HIV陽性の人向けのセクシュアル/リプロダクティブ・ヘルス・サービス
  - 緩和ケア
  - 日和見感染やその他のHIV/エイズ関連症の予防・治療
  - HIV陽性の人々が心身ともに健全な個人生活（栄養、健康的な生活慣習など）ができるよう実施する精神的・社会的支援
  - HIVの影響を受けた人たち向けの心理的・社会的支援
  - 在宅ケア
  - 法的支援
  - 抗レトロウイルス薬の投薬を含む治療
- f) HIV/エイズとともに生きる人たちの積極的参加を得て、（在宅看護も含めた）地域参加の取組みを推進する。

#### 4. セクシュアル/リプロダクティブ・ヘルスとHIV/エイズの事業と政策の連携を強化する。

- a) セクシュアル/リプロダクティブ・ヘルスとHIV/エイズ政策と事業の統合をさらに改善するよう訴え、その進捗状況を監視する。
- b) セクシュアル/リプロダクティブ・ヘルスとHIV/エイズの統合問題とその機会に対応する能力を向上させる。

## 人工妊娠中絶

### 最終目標

安全な人工妊娠中絶を選択し、それを受ける女性の権利が普遍的に認められるようにはかり、安全でない人工妊娠中絶の件数を低減させる。

### 過渡的目標

1. 安全な人工妊娠中絶を選択し、それを受けられる権利を擁護するような世論と政治的な責任を強化する。
2. 安全な人工妊娠中絶へのアクセスを拡大する。
3. セクシュアル/リプロダクティブ・ヘルス・サービスの一環として人工妊娠中絶関連サービスの提供を拡大する。
4. 安全でない中絶が公衆衛生と社会正義に及ぼす影響について、一般市民、政策立案者、主要専門家集団の間での意識を高める。

### 事業戦略

1. 安全な人工妊娠中絶を選択し、それを受けられる権利を擁護するような世論と政治的な責任を強化する。
  - a) 安全な人工妊娠中絶を選択し、それを受けられる権利を、人権と結びつけて定義し、運用できるようにする。
  - b) 中絶に関連する問題に関するIPPFの方針、意見表明論文、文書を作成し定期的に見直す。
  - c) IPPFのあらゆるレベルでボランティアと職員の判断力を磨き、アドボカシー（政策提言）に向けた能力強化をはかる。
  - d) 意識啓発と世論の結集をはかる。
  - e) NGOや女性グループ、専門職のグループや団体、人権団体、宗教団体との（ネットワークづくり、同盟、連立、合同体などの）戦略的提携関係を構築する。
  - f) 中絶を受ける権利の法制化や、中絶の解禁によって、この権利を認め、保護し、充実させるため、政府、政界、司法界、保健専門家およびオピニオンリーダーに対し、実証根拠に基づくアドボカシー（政策提言）をする。
  - g) IPPFが全世界的な討論で積極的な役割を果たす。

**2. 安全な人工妊娠中絶へのアクセスを拡大する。**

- a) 人工妊娠中絶に関する法的現状と安全な中絶サービスの有無についての情報を文書にまとめ、一般向け、サービス提供者その他の関係者向けに提供する。
- b) 善悪判断をせず、手頃な料金で、配慮の行き届いた、質の高いサービスを推進する。
- c) 若い女性およびサービスの行き届かない社会から取り残された集団に対し、法の許す最大範囲で中絶サービスを提供する。
- d) 公共および民間の専門サービス施設を紹介する。
- e) サービス実施に関する戦略的提携関係を確立し、業務実施を支援し、研修を提供する。
- f) 中絶後のケア専門機関の紹介、合併症治療、避妊サービスを提供する。
- g) 公共部門、NGO および民間部門での中絶関連のサービス提供を拡大させるよう政府に対して提言する。

**3. セクシュアル/リプロダクティブ・ヘルス・サービスの一環として人工妊娠中絶関連サービスの提供を拡大する。**

- a) 人工妊娠中絶関連のサービスをセクシュアル/リプロダクティブ・ヘルス・サービスの一環として包括するように訴えていく。
- b) 安全で、慎重で、かつ善悪判断をせず、価格も手頃な中絶関連のサービスを若い女性とサービスの行き届かない、社会から見放された集団に特別注意して提供する。
- c) 中絶関連サービスのケアの基準を定め、その実施に向けた指針とサービス内容を案出する。
- d) 医療的中絶を含めた中絶関連のサービスの提供に向けた、簡潔で適切かつ革新的な選択肢を導入する。
- e) 中絶関連のサービスの提供に向けた能力の育成と強化をはかる。
- f) 中絶関連の事業の経験と成功事例を文書としてまとめ、共有する。

**4. 安全でない人工妊娠中絶が公衆衛生と社会正義に及ぼす影響について、一般市民、政策立案者、主要専門家集団の間での意識を高める。**

- a) IPPF が人工妊娠中絶関連の世界規模のデータベースを作成して維持する。
- b) 安全でない中絶の件数と女性とその家族、それに社会から取り残された集団の健康と心身の安寧への影響を査定し、文書化し、伝達する。
- c) 女性が安全でない中絶を体験する状況についての事例研究および中絶関連調査を活用する。
- d) 主要な提携相手（メディア、保健専門家、NGO、女性組織、人権グループ、地域社会リーダーなど）と協力して、協力的で、しかも十分な知識をもつオピニオン・リーダーのネットワークを構築する。

## (セクシュアル/リプロダクティブ・ヘルス関連情報およびサービスへの) アクセス

### 最終目標

すべての人々、とくに貧困層の人、社会から見放され、排除され、恩恵を受けることの少ない人たちが自分たちの権利を行使し、セクシュアル/リプロダクティブ・ヘルスについて知識を得た上で、本人の自由意思で選択し、リプロダクティブ・ヘルス情報、性教育、家族計画などの質の高いサービスを受けられるようにする。

### 過渡的目標

1. セクシュアル/リプロダクティブ・ヘルス情報、教育およびサービスを受ける上での社会的・経済的、文化的、宗教的、政治的・法的障壁を減らす。
2. リプロダクティブ・ヘルス事業に対する政治責任と支援を強化する。
3. 女性が自分たちの性的活動や出産活動を自己選択し、自分の権利として行使できるように能力をつけさせる。
4. セクシュアル/リプロダクティブ・ヘルスへの男性による真剣な取り組みを増大させる。
5. 権利に根ざした手法によるセクシュアル/リプロダクティブ・ヘルスの情報と性教育へのアクセスを拡大する。
6. 権利に根ざした手法による、質の高いセクシュアル/リプロダクティブ・ヘルス・サービスへのアクセスを拡大する。

### 事業戦略

1. セクシュアル/リプロダクティブ・ヘルス情報、教育およびサービスを受ける上での社会的・経済的、文化的、宗教的、政治的・法的障壁を減らす。
  - a) 女性と若者グループなどのNGO、宗教指導者、市民グループ、民間部門、メディアその他の関係者との提携を強化し、新しい提携関係を構築する。
  - b) 政策立案者と国会議員に影響を与え、障壁を減らす努力をする。
  - c) 関係者の積極的な参画を推進して、どんな障壁があるか特定し、これらの障壁を取り除くための戦略を立案、実施、評価する。
  - d) セクシュアル/リプロダクティブ・ヘルスとライツを支持する運動を起こす。
2. リプロダクティブ・ヘルス事業に対する政治責任と支援を強化する。
  - a) 必要とみなされる集団すべてにセクシュアル/リプロダクティブ・ヘルス情報とサービスを提供できるようにするため、(セクターワイド・アプローチや貧困削減戦略などの) 仕組みを導入し、強化をはかるよう、政府、政治家、政策立案者その他の有力グループにはたらきかけ、影響を与える。

- b) 必要な集団すべてに向けた効果的で質の高い国レベルのセクシュアル/リプロダクティブ・ヘルス事業の立案・実施を推進し、支援する。
- 3. 女性が自分たちの性的活動や出産活動を自己選択し、自分の権利として行使できるように能力をつけさせる。**
- a) ジェンダーの公正と平等を推進する。  
b) ジェンダーに基づく暴力と有害な慣習に取り組む新しい事業を立案・推進する。  
c) 年齢や既婚・未婚を問わず、女性すべてが自分のセクシュアル/リプロダクティブ・ヘルスとライツについて意思決定できる能力をつけるようにする。
- 4. 権利に根ざした手法によるセクシュアル/リプロダクティブ・ヘルスの情報と性教育へのアクセスを拡大する。**
- a) 男性とともに活動し、男性側の家族計画の方法をはじめとする彼らのセクシュアル/リプロダクティブ・ヘルスのニーズが何であるかを見極め、それに取り組む。  
b) 男性が男女それぞれのセクシュアル/リプロダクティブ・ライツとジェンダー公正と平等について十分に理解し、支持するようになるのを助ける。
- 5. 権利に根ざした手法によるセクシュアル/リプロダクティブ・ヘルスの情報と性教育へのアクセスを拡大する。**
- a) セクシュアル/リプロダクティブ・ヘルスとライツに関する正確で最新の情報を提供する。  
b) 新しい方法を推進活用し、集団特有のニーズに合ったセクシュアル/リプロダクティブ・ヘルス情報を入手できる方法を確保する。  
c) 新しい、年齢別・ジェンダー別の方法を活用して総合的性教育を推進する。  
d) 禁欲だけを教える事業に対して適切な対応をとる。
- 6. 権利に根ざした手法による、質の高いセクシュアル/リプロダクティブ・ヘルス・サービスへのアクセスを拡大する。**
- a) 社会から取り残された層やサービスの恩恵を十分受けていない層に質の高い、統合的なセクシュアル/リプロダクティブ・ヘルス・サービスが届くようにする。  
b) 緊急避妊を含めた避妊法すべてが利用できるようになり、人々に受け入れられるようにする。  
c) 家族計画を含むセクシュアル/リプロダクティブ・ヘルス・サービスがサービスの行き届かない層や社会から取り残された層に届くようにするため、アウトリーチ、巡回、派出所型ないし地域社会に根ざした質の高い、成功モデルを考案し、既存事業の規模拡大をはかる。  
d) 専門医療機関の紹介を含めたセクシュアル/リプロダクティブ・ヘルス・サービスの提供に向けて戦略的提携関係を強化し、拡大する。  
e) 政情不安や自然災害による緊急事態下にある人たちのセクシュアル/リプロダクティブ・ヘルス関連ニーズに対応する。

## アドボカシー（政策提言）

### 最終目標

国内および国際レベルでのセクシュアル/リプロダクティブ・ヘルスとライツを広め、支持する強力な世論を醸成し、政治的・財政的な約束をとりつける。

### 過渡的目標

1. セクシュアル/リプロダクティブ・ヘルスとライツについての認識を強化する。その一環として、それらの権利を促進、尊重、擁護、履行する政策と立法化を進める。
2. セクシュアル/リプロダクティブ・ヘルスとライツを推進する政府の約束と説明責任に対して世論の支援を獲得する。
3. 国の開発計画の中でのセクシュアル/リプロダクティブ・ヘルスとライツの優先順位を引き上げ、資金調達と人材配置を多くする。

### 事業戦略

1. セクシュアル/リプロダクティブ・ヘルスとライツについての認識を強化する。その一環として、それらの権利を促進、尊重、擁護、履行する政策と立法化を進める。
  - a) 政府、主要政策立案者その他（女性団体、NGO、シンクタンク、国際機関、国会議員、学者、公務員などの）有力集団との既存の関係を強化し、関係がない場合には新たに提携関係を構築し、一緒にセクシュアル/リプロダクティブ・ヘルスとライツを向上させるための行動をとる。
  - b) 政策見解を詳細にわたって考察し、特定した対象集団ごとにこれらの見解に基づく明確なメッセージを用意する。
  - c) IPPF独自の事業のものをはじめとする実証根拠に基づく情報を活用して、セクシュアル/リプロダクティブ・ヘルスとライツの政策を立案し、その重要性と影響について実際に示し、かつ、適切な行動をとるよう政府とグループに対して提唱する。
  - d) 反対意見を表明するメッセージや戦術を分析し、反対意見を予測し、対応し、反論するメッセージや戦略を考案する。
  - e) 市民社会と提携して、政府や有カグループに影響を与え、お互いの比較優位性を補完するようにする。
  - f) メディアとの良好な関係を確立し、セクシュアル/リプロダクティブ・ヘルスとライツに関する報道を増加してもらう。
  - g) セクシュアル/リプロダクティブ・ヘルスとライツ問題やIPPFの業務についての周知度を高めるため、主要行事、会議、会合、「（～の日）」などの）指定日に力を結集する際の連絡調整をする。



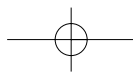
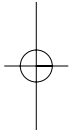
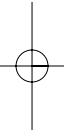
**2. セクシュアル/リプロダクティブ・ヘルスとライツを推進する政府の約束と実施責任に対して世論の支援を得る。**

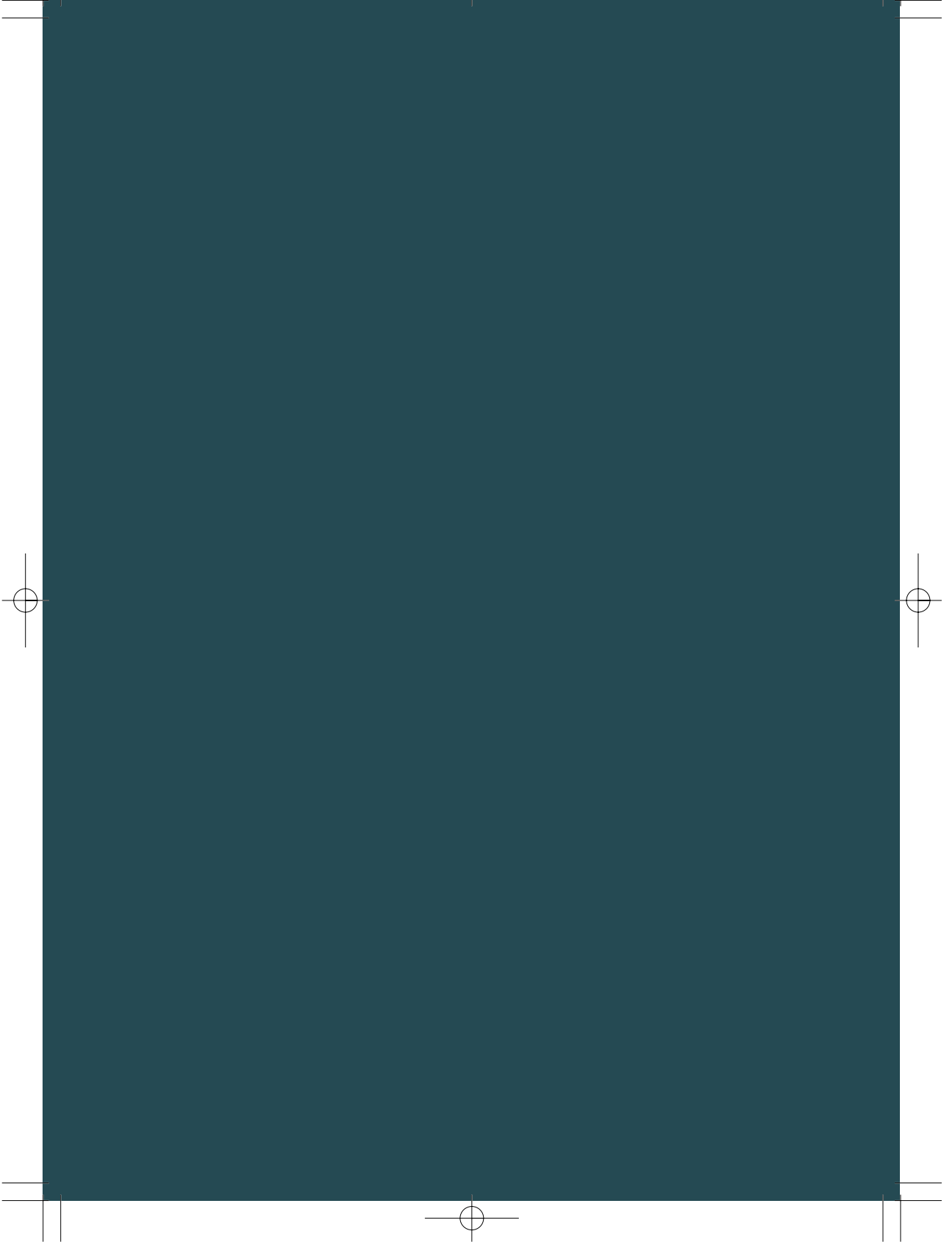
- a) 一般の人たちとの関係をつくり、セクシュアル/リプロダクティブ・ヘルスとライツを社会の各レベルで支えていくための行動に巻き込んでいく。
- b) 冒頭に挙げた5つの優先項目のそれぞれに関して合意した主要メッセージを盛り込んだ IPPF 全体で使う一般向けの 明確で、目標を絞った、簡潔で、一貫性のあるメッセージを考案する。
- c) 対象メディアと共に、セクシュアル/リプロダクティブ・ヘルスとライツへの支持を集集することを目的として、意識の向上、情報とメッセージの普及に効果的・革新的な方法で取り組む。
- d) セクシュアル/リプロダクティブ・ヘルスとライツの概念に関して個人の責任感を育て、一般の支持を得るため、(仲間同士の間での提唱活動、会合、行事、地域指導者などの) 地域グループを集集していく。

**3. 国の開発課題の中でのセクシュアル/リプロダクティブ・ヘルスとライツの優先順位を引き上げ、財源の配分を高める。**

- a) 政府、支援組織、国際機関、民間部門、市民グループに対し、セクシュアル/リプロダクティブ・ヘルスとライツがミレニアム開発目標 (MDGs) の主要目標である貧困の軽減と開発に非常に重要であることを示すよう提唱していく。
- b) セクシュアル/リプロダクティブ・ヘルスとライツに向けた政府の公約と投資の実績をモニターし、その情報を広く伝える。
- c) セクシュアル/リプロダクティブ・ヘルスとライツへの支持を集集するため、意識を高め、情報とメッセージを広めるため、対象メディアと共に効果的・革新的な方法をとる。
- d) 政府、NGO その他の主要有力グループと関係を構築し、セクシュアル/リプロダクティブ・ヘルスとライツの重要性とミレニアム開発目標 (MDGs)、貧困削減戦略などに盛り込まれたより広範な開発目標との結びつきを示し、結果として、より大きな財源の配分を引き出す。
- e) 一般に募金を呼びかける。
- f) 適正なセクシュアル/リプロダクティブ・ヘルス製品の供給の重要性について強調する。

IPPF 戦略的枠組





**International Planned  
Parenthood Federation**

Regent's College,  
Inner Circle, Regent's Park,  
London NW1 4NS  
United Kingdom

Telephone +44 20 7487 7900

Fax +44 20 7487 7950

Email [info@ippf.org](mailto:info@ippf.org)

[www.ippf.org](http://www.ippf.org)